

注 意 報

各関係機関長 殿

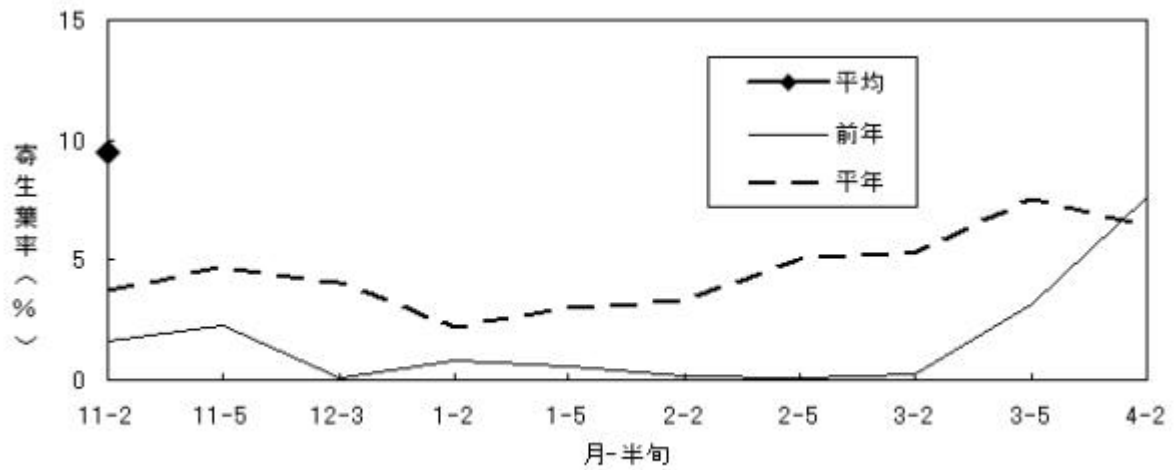
福岡県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察注意報第5号について

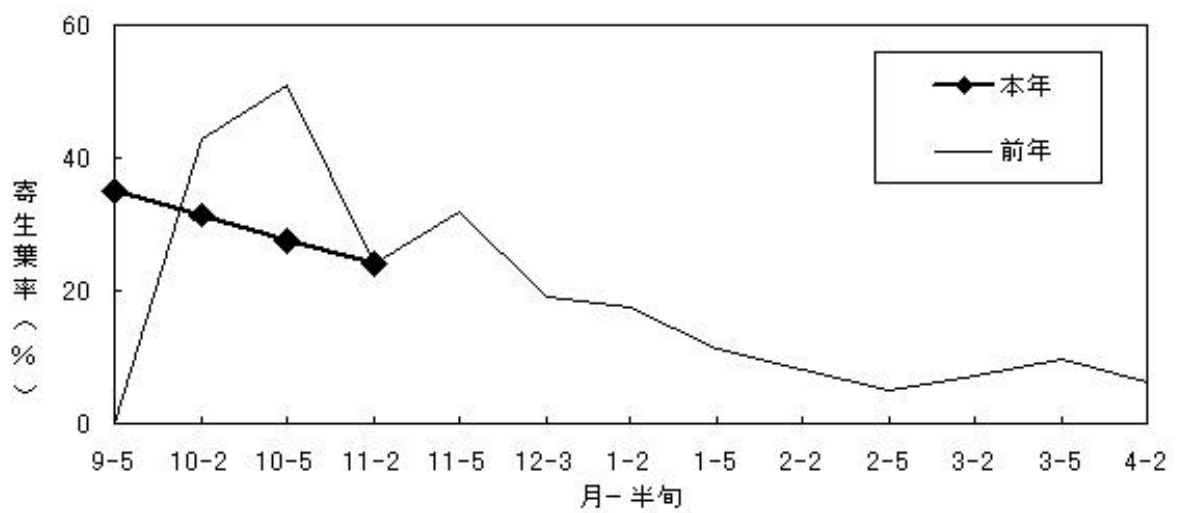
このことについて、以下のとおり送付します。

平成17年度病害虫発生予察注意報第5号

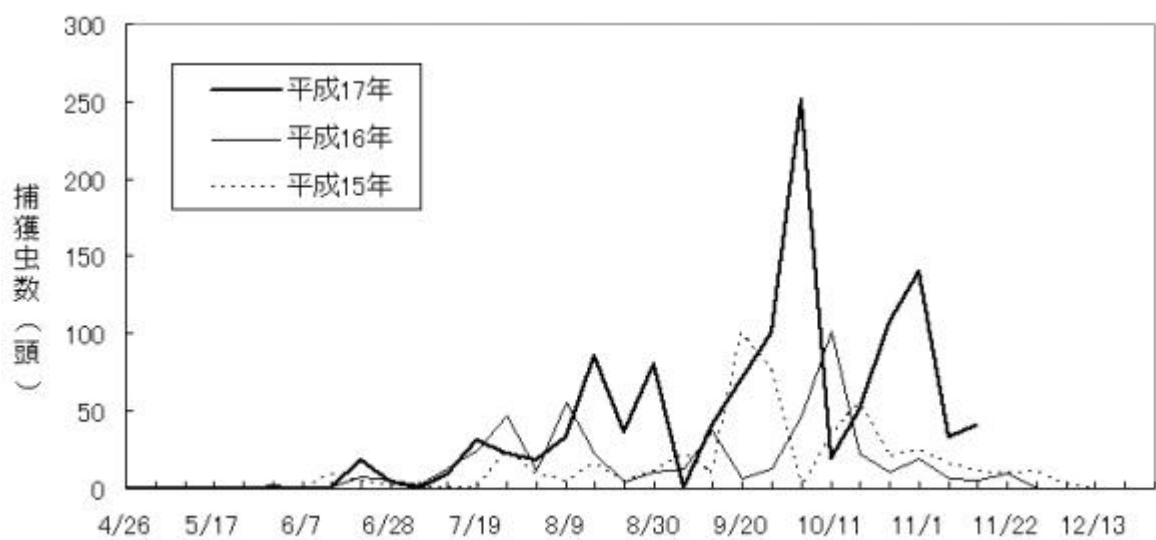
- 1 対象作物 野菜類
- 2 病害虫名 コナジラミ類
- 3 発生地域 県全域
- 4 発生程度 多い
- 5 発生状況
 - ア 冬春トマトの11月2半旬の調査では、寄生葉率は9.5%（平成：3.7、前年：1.6%）で、発生ほ場率は54.5%（平成：-、前年：37.5%）となっている。
 - イ また、冬春ナスの同時期の調査では、寄生葉率は24.0%（平成：-、前年：24.0%）で、発生ほ場率は100%（平成：-、前年：88%）と多い。
 - ウ 調査のため、野外に置いたトマト苗への寄生虫数は11月2日～11月8日で33頭（平成：-、前年：6頭）、11月9日～11月15日で40頭（平成：-、前年：5頭）であった。
- 6 防除上注意すべき事項
 - ア 11月中旬になっても野外での生存が多く、ハウスの谷部や開口部分に0.4mm目以下の通気性のよいネットを張り侵入を防ぐ。
 - イ 多発生後は防除が困難となるので、発生をみたら直ちに防除を行う。
 - ウ 本虫の発生源を減らすため、ほ場内外の雑草等の防除や除草を行う。
 - エ 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
 - オ 薬剤によっては、マルハナバチへの影響があるので薬剤の選定に当たっては注意する。



冬春トマトにおけるコナジラミ類の寄生率



冬春ナスにおけるコナジラミ類の寄生率



野外に置いたトマト苗へのシルバーリーフコナジラミの寄生虫数(筑後農林)